

卒業生が“城東LIFE”を語る……



人文

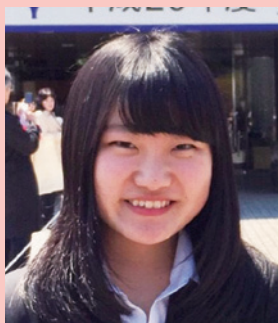
神戸大学・経済学部経済学科 片岡淳貴
(瀬戸内市立邑久中学校)

城東高校はとても自由な校風で、生徒一人ひとりが自らの行動に責任を持ち、生き生きと活動できる場所です。また、部活動がとても盛んで、勉強との両立が大変で忙しいものの、とても充実した日々を送ることができます。そしてお互いが刺激し合い、成長していける環境であると思います。

城東にはたくさんの行事があって、生徒同士が協力して自主的に物事に取り組む機会があります。その中で特に印象的だったのは、翠緑祭でした。翠緑祭のシーズン直後にソフトテニス部の試合がありとても大変でしたが、その忙しい中でも時間を見つけて、苦労しながらクラスの出し物を作り上げます。完成した時は大きな達成感を味わうことができました。

人文社会学類は他の学類と比べて色々な科目をバランス良く学ぶことができます。また、選択授業も多いため、自分の志望や適性に合わせて自分なりの授業を組むことができます。私が選択した授業では、SNSを通じて他校の生徒と課題について意見を出し合うことで、自分で考える力を養うことができました。

個性豊かな仲間、熱心に指導してくださる先生方と城東高校で過ごした3年間は私にとってかけがえのない時間となりました。



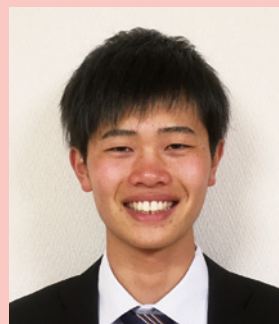
国際

大阪大学・外国語学部・外国語学科 森山ほのか
(吉備中央町立加茂川中学校(現在 加賀中学校))

城東は、学類を問わず世界への扉が大きく開かれている学校です。私自身も、カナダでの海外文化体験研修、韓国での学類研修、フィリピンでのボランティア活動、イギリスでのSGH海外修学研修など多くの国を訪ね、異文化を肌で感じ、現地の人々と交流を深め、貴重な経験をすることができました。また国内でも、韓国の学生のホームステイ受け入れ、留学生との授業など、海外の文化に触れる機会がたくさんあります。積極的に色々な活動に参加することで、自分の視野を広げ、世界中にたくさんの友達を作ることができました。城東での国際協力や国際交流を意識した活動は、現在の私の夢にもつながっています。

2年次からの国際教養学類では、英語だけを使って様々なアクティビティやディベートを行うITC(英語集中合宿)、韓国での学類研修、ALTの先生との授業、翠緑祭での英語劇など、他学類に比べて英語や海外の文化に触れる機会が多くあります。英語を楽しく実践的に学び、次第に自分の英語力に自信をもてるようになりました。また、英語や国際関係に興味を持つ仲間が集まった国際教養学類の教室では、毎日楽しく、互いに支えあって充実した時間を過ごすことができました。

私にとって、城東高校で最高の仲間、先生方と過ごした3年間は、キラキラ輝く、かけがえのない宝物となりました。城東高校には、大きな夢、いろいろな考えを持った仲間が集まっています。どんな時でも親身になって相談に乗ってくれる優しい先生方がいます。そんな素敵な環境に自分の身を置くことで、私は一回りも二回りも成長することができました。卒業した今、「城東(ここ)でよかった」と心の底から思っています。



理数

東京大学・理科一類 太田一岳
(岡山市立福南中学校)

「城東(ここ)でよかった。」城東高校を卒業した今、私は心からこのように思っています。私が、城東高校で過ごした3年間は、自由で明るい校風のもとで、勉強、部活動や行事に全力で取り組むことができた充実した3年間でした。

まず、理数学類について。私は1年次の頃、明確な将来の夢がなく、数学が得意という理由で、理数学類に進みました。しかし、学類研修で東京に行き、東京大学や日本最先端の研究所を数多く見学し、『東大に進学し、将来はロボットの研究をする』という夢を見つけることができました。また、海外修学研修に参加することができ、イギリスを訪問して多くの経験をすることで、「自分が世界をより良くしていかなければならない」という責任感が芽生えました。さらに、グローバルサイエンスという理数学類のコア科目の授業では、英語で数学の授業を受けたり、普段はできないような化学の実験をしたりして、楽しく多様な経験をすることができました。

次に、行事について。城東高校には、様々な行事がありますが、その中で最も印象に残っているのは、やはり翠緑祭です。翠緑祭は、生徒が主体となってつくりあげる行事なので、生徒の熱気は格別です。翠緑祭の盛り上がりは参加した人にしかわからないかもしれませんが、簡単に言うと、≪『城東の自由』爆発≫です。翠緑祭に参加できたこと、城東高校で3年間過ごせたことが、一生の誇りであり、自慢です。



音楽

東京藝術大学・音楽学部・楽理科 中島 綾
(岡山市立高島中学校)

岡山城東高校は生徒の自主性を重んじており、生徒は自由で明るい雰囲気の中で学校生活を送ることができます。学校行事は生徒中心に企画・運営されており、特に翠緑祭は驚くほどの盛り上がりを見せます。また、城東高校は部活も盛んで生徒は多忙ですが、集中と切り替えを実践し、忙しいながらも充実した毎日を送っています。

音楽学類では、音楽理論やソルフェージュはもちろん、和声学、音楽史、新曲視唱、アンサンブルなど多数の専門的な科目を選択することができ、自分の進路志望に応じた学習計画を立てることができます。また、くらしき作陽大学との高大連携プログラムや、県外の音楽大学教授による公開レッスン、講演会といった濃い内容の授業や、海外の高校生との国際交流もあり、とても充実した日々を送ることができます。そして、中庭コンサートや翠緑祭でのミュージカル、定期演奏会などの行事では、専攻楽器を演奏する機会が与えられるだけでなく、コンサートの構成や演出まで手がけることができます。こういった体験は城東高校だからこそできる貴重な体験だと思います。

先生方は相談や質問に丁寧に応じてくださいます。個性的な生徒たちにはたくさんの刺激を受けました。私にとって岡山城東高校で過ごした3年間は一生の宝物です。